

令和2年度福井市文殊小学校スクールプラン

市学校教育目標
郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成

福井市学校教育方針
地域に根ざす「学びの一貫性」

教育目標

自ら求めてたくましく活動できる児童の育成

校訓

あかるく **つよく** **きまりよく**
礼儀正しく明るい子 進んで学びがんばる子 規律ある集団行動のできる子

研究主題

自ら気づき、考え、高め合う子の育成

重点目標

確かな学力(授業づくり)
○学びの土台となる基礎・基本の定着
◎課題に向かって主体的に考え学び合う授業の充実

健やかな心と体(人づくり)
◎主体的な交流・体験活動による豊かな心と認め合い、思いや考えを表現できる人間関係づくり
○地域と共に学び・考え・絆を深める主体的で心に残る体験の充実と、基本的自尊感情の育成

園・小・中連携(子ども支援)
◎小・中、家庭と連携した基本的な生活習慣の定着と健康意識の向上
○こども園・2中学校との移行支援の確立

具体的な取り組み

- ①よくわかる、楽しい、参加できる授業をめざし、学力重点領域強化の取り組みと遅れがちな児童の指導・支援方法を工夫する。
- ②課題を意識した主体的・対話的で深い学びの授業改善を学力向上につなげる。
・対話を通して学びを深める手立て ・計画的な学びの発信・振り返りを次につなげる工夫(自己調整)
- ③学習モデル(話型・文型・思考型)や学習ツールを使った指導を工夫する。
- ④読書活動を推進すると共に、素直に聞く力、言葉の力を育てる。

- ①児童の主体的活動を推進し、気づき、考え、高め合う体験を通してリーダーの育成を図る。
- ②縦割り活動を充実するとともに仲間づくり、体験活動や道徳授業を通して人権意識を涵養し、支持的であたたかい校風を育てる。
- ③PTA・地域との共催行事、地域行事への主体的参加や地域の大人との交流を通じて、地域を大切にしている子供たちを育てる。
- ④地域の教育資源を生かしたふるさと教育を計画的に進め、仕事に触れる機会を充実する。

- ①命の大切さを考える健康教育を通して、正しい知識の習得・理解をもとに、健康行動を起こすこと、維持することのできる児童を育てる。
- ②中学校区が進める情報モラル・健康などの生活習慣づくりで保護者・PTAと「共同・共育」活動を推進する。
- ③こども園5歳児との交流活動の充実を図る。
- ④支援が必要な子には個別の支援計画を作成するとともに、スクールカウンセラーを含め相互参観や情報交換等を積極的に行う。

☆児童評価「授業がよくわかる」 90%以上
☆児童評価「授業中、しっかり話し合ったり自分の考えを進んで発表している」 70%以上
☆教職員評価「自分は、授業の改革や教員の指導力の向上に積極的に取り組んでいる」 A評価70%以上

☆児童評価「学校が楽しい」 90%以上
「みんなで何かをするのは楽しい」 90%以上
☆教職員評価「自分は学校や地域の行事に関する体験活動を積極的に授業に取り入れ進めている」90%以上

☆中学校区教育で行う点検カード等で中学校区設定の目標達成率を上回る
☆園・中との相互参観・情報交換会10回以上
☆保護者評価「学校は、食育や健康な体づくりに力を入れて取り組んでいる」 90%以上